

1 日 時 令和6年12月12日(木) 15:30～17:20

2 場 所 図書室

3 あいさつ(学校長、委員長)

4 協議内容

(1) 学力向上の取組について

○非認知能力の育成状況について

○全国学力・学習状況調査の結果の分析について

- ・行事等が多く、先生も子どもも忙しい2学期であった。落ち着いて学習に取り組める状況づくりが必要である。
- ・中学年での学習が大事である。学力の定着をお願いしたい。
- ・行事の精選を行っているが、暑さ対策のため運動会の時期が以前より1か月遅くなり、10月以降の行事が混んでしまっている。行事をどのように分散させていくかが課題である。
- ・校外学習が増えたのはよいことである。子どもが何を学んでいるのか、私たちボランティアも知りたい。
→総合的な学習、社会科で取り組んでいる探究学習を通して、子ども一人ひとりが主体となった学びの実現を目指している。

(2) 家庭教育について

○家庭教育について

○家庭におけるスマートフォン・SNSについて

- ・学年が上がるにつれて自己肯定感が低くなっている。自分で考えて行動する力が十分ではない。子どもが達成感を感じることが大切なので、ゆとりがない保護者の現状の中で、学校からも家庭でできそうなことを提案してほしい。
- ・あいノートの取組はとても良い。子どもが本音を出せる場になっている。

(3) 安心安全な学校づくりについて

○緊急時の児童引き渡しにおける保護者の車の動線について

- ・稲生小学校は、地域の避難所にもなっている。運動場門扉改修工事の要望を教育政策課に伝えたが、市役所の関係課には伝わっているのか。回答がないので回答が欲しい。

(4) 学校関係者評価について

- ・保護者アンケートが終わり、現在、子どもへのアンケートを行っている。次回の協議会でお伝えする。

(5) 地域コーディネーターより

- ・窓口会議を2回、全体会議を1回行っている。

(6) その他

- ・次回の子ども食堂では初めて読み聞かせを行う。

5 教育支援課コミュニティスクールアドバイザーより

- ・2学期10月以降のの行事が多いとのことだった。子どもも大変だっただろう。空いている9月にどのような行事ができるか考える必要がある。
- ・5・6年生の非認知能力に向上が見られたことは成果である。やりぬく力や自己肯定感を高めていくために、家庭でもできることを保護者に伝え、家庭の教育力を高めるよう啓発していかなければならない。
- ・運動場門扉工事については、教育政策課には伝えてあるが、その後の状況については確認し、お伝えする。